



平成19年11月21日(水)
愛知県産業技術研究所 瀬戸窯業技術センター
担当 応用技術室 山田、長谷川
電話 0566-21-2116、2117

愛知県産業労働部地域産業課
担当 技術振興・調整グループ 石川、高須
内線 3360, 3362
(ダイヤルイン) 052-954-6340

ひきうす 「和みの碾臼」を開発しました。

豊かな時間をゆったりと楽しみながら心健やかに過ごすためのグッズです。

愛知県産業技術研究所では、熟年市場に参入するための商品デザインの開発を進めてきました。その成果として、碾くものに合わせて目の粗さや荷重を変えることができる「和みの碾臼」を開発しました。

趣味で使用する碾臼は石製のものが多く、抹茶用、コーヒー用など碾く素材に合わせて作られていますが、碾くものを変えるとそれに合わせて臼も買い揃えなくてはなりません。この「和みの碾臼」は、本体が複数のパーツに分かれており、目の粗さや荷重を変えられるため、茶葉やコーヒー豆などさまざまな素材に対応することができます。

「和みの碾臼」は11月28日(水)から30日(金)までの間、吹上ホールで開催される「産学交流テクノフロンティア2007」において愛知県産業技術研究所のブースで展示し、商品化に関心を持つ地元企業を募ります。

1. 開発の背景

時間的、金銭的余裕がある熟年市場は、商品開発のターゲットとして重要視されています。その市場が2007年からのいわゆる団塊世代の退職により急増するため、各方面で商品開発が活発化しており、陶磁器業界においても早急な対応が迫られていました。

そこで、愛知県産業技術研究所瀬戸窯業技術センターでは、平成18年度より熟年市場に対応するため、熟年世代のライフスタイルにマッチした食環境にふさわしい商品デザインの開発に取り組んできました。

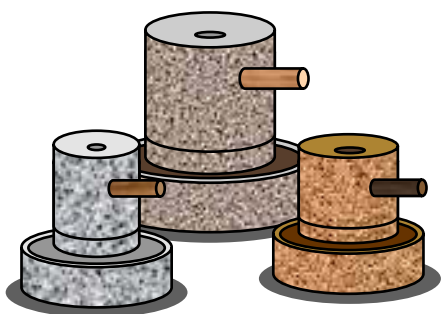
2. なぜ碾臼？

いわゆる団塊の世代を対象に民間の研究所が実施したアンケート⁽¹⁾では、退職後に望むライフスタイルとして「健康な食生活を心がけたい」、「のんびりした生活をしたい」、「夫婦で一緒に暮らしたい」、「趣味を楽しみたい」、「家族との時間を大切にしたい」などの項目に多くの支持が集まっています。そこで、開発コンセプトを「豊かな時間を、ゆったりと、夫婦共に楽しみながら心健やかに過ごすためのグッズ」と設定し、商品アイテムとして茶の席などで使われる碾臼を取り上げました。

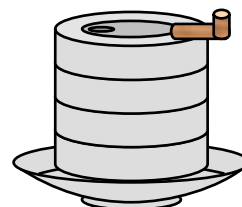
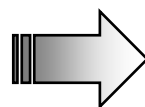
3. 開発品の特徴

(1) 1台多役のシステム碾臼

碾臼は個人で楽しむための小型のものが売られていますが、抹茶用、コーヒー豆用など碾くものが限定されています。つまり、抹茶のほかにコーヒー豆、そばなども碾きたい場合は、目の粗さや重さが異なる臼を買い揃えなくてはなりません。しかし、小型とはいえ、いくつも買い揃えるのは現実的ではありません。そこで、ひとつの碾臼で様々な用途に使用できるものを検討しました。

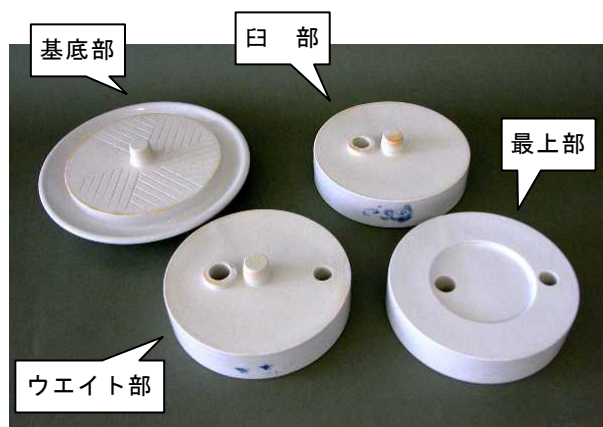


抹茶用、コーヒー用、そば用...
碾くものに合わせて買い揃えるのは大変！



これ1つでOK！

「和みの碾臼」は、基底部、臼部、ウエイト部、最上部の各パーツに分離できるので、目の粗さを変えた臼部を使い分けることにより碾くものや碾き上がりの粒度が変えられるとともに、ウエイト部の個数を変えることにより荷重の調節が可能なシステム碾臼です。



パーツ分解写真